

高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第52週（12月25日～12月31日）

2018年 第1週（1月1日～1月7日）

★お知らせ

○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告は第52週の11.81から第1週は18.79と増加し注意報値を超えています。県全域から報告があり、幡多、安芸で急増、高知市、中央西、須崎、中央東で増加し、幡多で警報値を、高知市、中央西、須崎で注意報値を超えていますので、引き続き注意して下さい。

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザA型の割合が59.7%、インフルエンザB型の割合が40.3%となっています。異なる型の流行がみられるので、複数回感染することも考えられます。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2017年第47～51週）ではAH1pdm09の検出割合が最も多く59.3%、次いでB（山形系統）が26.4%、AH3が13.0%、B（系統不明）が0.9%、B（ビクトリア系統）が0.4%の順でした。

インフルエンザの流行期に入っていますので、外出後の手洗いなどの感染予防を心がけ、症状がある方は、咳エチケットに心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も有効です。感染力は非常に強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大することから、集団生活の場では特に注意が必要です。

＜予防方法＞ 手洗いと咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- （1）普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- （2）咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- （3）手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

高知県の保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況（2018年第1週）

	今週		1週前		2週前		4週前		5週前	
	第1週		第52週		第51週		第50週		第49週	
	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況
高知県全域	18.79	○	11.81	○	4.38	-	1.33	-	0.90	-
安芸	6.00	-	3.00	-	0.75	-	0.25	-	2.00	-
中央東	8.91	-	6.00	-	2.55	-	0.27	-	0.09	-
高知市	21.69	○	15.81	○	5.88	-	1.44	-	0.75	-
中央西	17.40	○	13.00	○	5.60	-	5.60	-	2.00	-
須崎	15.50	○	9.75	-	5.50	-	0.50	-	0.25	-
幡多	35.50	△	16.50	○	4.38	-	0.88	-	1.38	-

注意報値：○（10以上30未満） 警報値：△（30以上）

厚生労働省 インフルエンザ（総合ページ）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuenza/index.html

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第52週の2.63から第1週では1.63と減少しています。県全域から報告があり、幡多で急減、中央西、中央東、安芸、高知市で減少していますが、須崎で急増しています。

定点医療機関からのホット情報では第52週にノロウイルス6例、細菌のカンピロバクター属菌やサルモネラ属菌を原因とする胃腸炎の報告3例、第1週にはノロウイルス3例の報告があります。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。嘔吐、下痢が主症状ですが、その他、発熱、腹痛などの症状があります。特に、乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

<予防方法> 感染予防の基本は手洗いです

人への感染経路は、主に経口（食品、糞便）です。食品を除けば大半が手に付着したウイルスが口に入っ
て感染します。感染防止策は「手洗い」が基本ですので帰宅時・調理前・食事前・トイレの後に石けんを使
ってよく手を洗いましょう。また、感染した人の便や吐物には、大量のウイルスが含まれていますので直接
触れないようにし、次亜塩素酸ナトリウムまたは家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用
方法を確認した上で使用し処理しましょう。（使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処理しまし
ょう。）また、調理をする場合は、十分加熱しましょう。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

☆屋外活動の際にはダニに注意！

★日本紅斑熱や SFTS に注意しましょう

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前
で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは野山、草地、畑、河川敷などに広く生息しています。屋外でキャンプ、ハイキングなどのレジャ
ーや農作業をする場合には次のことに注意しましょう。（全てのマダニが病原体を持っているわけではあり
ません）

長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。

マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。

地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。

活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さ
い。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

また、このたび発熱・衰弱等に加え血小板減少等の所見が見られた飼育ネコ及び飼育イヌの血液・ふん便
から SFTS ウイルスが検出された事例並びに、体調不良のネコからの咬傷歴があるヒトが SFTS を発症し死
亡した事例が確認されました。これらの事例は稀な事例ではありますが、イヌやネコの体液等からヒトが感
染することも否定できないので、体調不良の動物に接触した後、発熱等の症状が出た時には医療機関を受診
して下さい。その際には、動物との接触歴についても申し出て下さい。

●重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分 含有率	分類	有効持続 時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児 には 使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を 腐食することもある
	12%	防除用 医薬品	約3時間		
	高濃度製 剤 30%	防除用 医薬品	約6時間	12歳未満は 使用禁止	
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間		
	高濃度製 剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋

※市販の虫除け剤(忌避剤)は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患）

↑ : 急増
 ↗ : 増加
 → : 横ばい
 ↘ : 減少
 ↓ : 急減

52週（12月25日～12月31日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↑	11.81	県全域、幡多、高知市、中央西、中央東、安芸で急増、須崎で増加し、県全域、幡多、高知市、中央西では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	2.63	安芸で急減していますが、中央西、中央東で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1.53	安芸で減少しています。
RSウイルス感染症	↗	0.77	幡多、中央西、須崎で急増、県全域、中央東で増加しています。
水痘	↗	0.50	中央西、安芸で急増、県全域で増加しています。

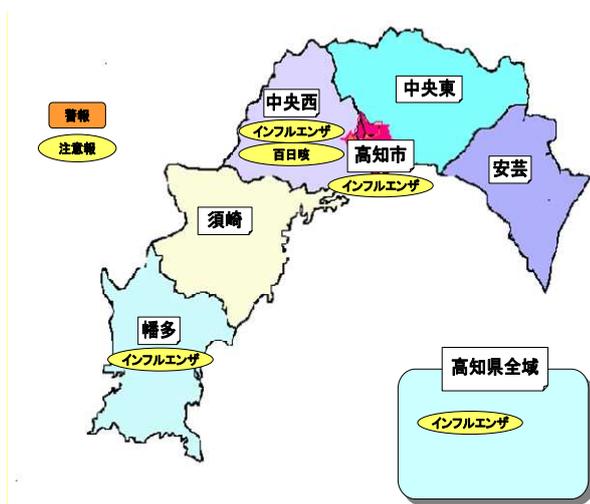
1週（1月1日～1月7日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↗	18.79	幡多、安芸で急増、県全域、高知市、中央西、須崎、中央東で増加し、幡多で警報値を、県全域、高知市、中央西、須崎では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	↘	1.63	幡多で急減、県全域、中央西、中央東、安芸、高知市で減少していますが、須崎で急増しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	0.97	高知市、中央東で急減、県全域、幡多で減少しています。
RSウイルス感染症	↘	0.53	中央東、中央西、須崎で急減、県全域で減少していますが高知市で増加しています。
水痘	↘	0.30	安芸、中央西で急減、県全域、高知市で減少していますが中央東、幡多で急増しています。

★地域別感染症発生状況

第52週

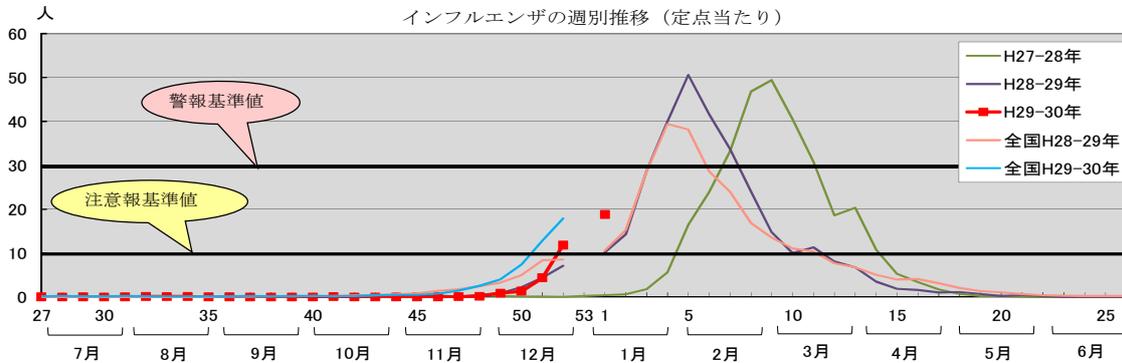
第1週



★気を付けて！

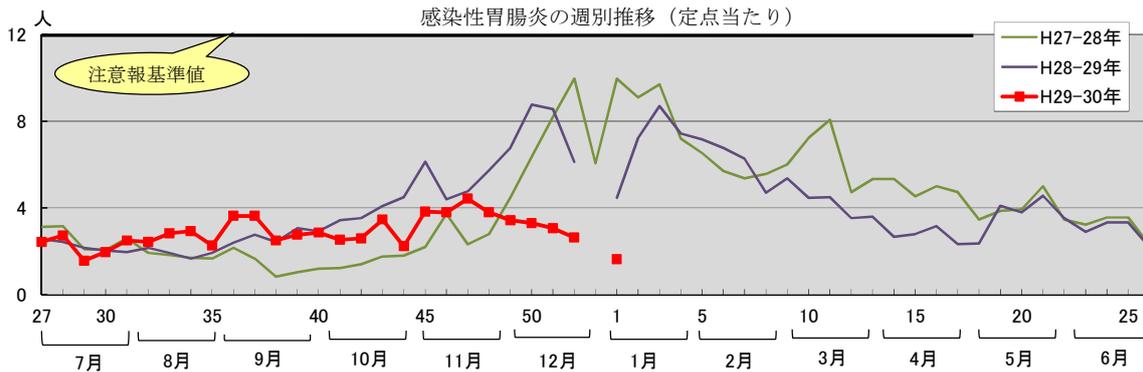
○インフルエンザ 第52週：11.81 第1週：18.79 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

第1週の定点医療機関からの報告数は定点当たり18.79(前週11.81)と増加しています。幡多35.50(前週16.50)、安芸6.00(前週3.00)で急増、高知市21.69(前週15.81)中央西17.40(前週13.00)須崎15.50(前週9.75)中央東8.91(前週6.00)で増加し、幡多で警報値を、県全域、高知市、中央西、須崎で注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎 第52週：2.63 第1週：1.63 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

第1週の定点医療機関からの報告数は定点当たり1.63(前週2.63)と減少しています。幡多1.60(前週3.20)で急減、中央西2.33(前週3.33)中央東1.71(前週2.71)安芸1.50(前週2.50)高知市1.36(前週2.45)で減少していますが、須崎2.00(前週1.00)で急増しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H28-H29年とH29-H30年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

第52週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
47	呼吸器感染症	気管支炎,発疹,	11ヶ月	女	中央東	Herpes simplex virus 1
48	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	7ヶ月	男	高知市	Adenovirus 2
51	感染性胃腸炎	39℃,下痢,嘔吐,嘔気,肝機能,	1	男	幡多	Adenovirus 2
51	手足口病	38℃,口内炎,	1	男	須崎	Enterovirus 71
51	肺炎	41℃,咳嗽,下気道炎,肺炎,	2	男	幡多	Human metapneumovirus

★全数把握感染症

第52週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	6	70歳代 女	高知市
	梅毒	1	23	60歳代 男	

第1週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
5類	後天性免疫不全症候群	1	1	30歳代 男	中央東
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	2	70歳代 男	
		1		30歳代 男	高知市
	播種性クリプトコックス症	1	1	80歳代 女	中央東

★定点医療機関からのホット情報

第 52 週

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	ノロウイルス胃腸炎数名 hMP 感染症 2 例 (6 ヶ月女、1 歳男)
中央東	早明浦病院小児科	アデノウイルス感染性胃腸炎 1 例 (3 歳男)
	おひさまこどもクリニック	カンピロバクター腸炎 1 例 (3 歳男) サルモネラ腸炎 1 例 (1 歳男)
	高知大学医学部附属病院小児科	RS ウイルス細気管支炎 1 例 (2 ヶ月女) インフルエンザ A 型 1 例 (6 歳女)
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 2 例 (2 ヶ月男、12 歳男) アデノウイルス 2 例 (1 歳男、2 歳女) インフルエンザ 4 例 (5 歳男、6 歳男女、8 歳男)
	けら小児科・アレルギー科	ノロウイルス胃腸炎 1 例 (4 歳) アデノウイルス扁桃炎 2 例 (1 歳) カンピロバクター腸炎 1 例 (9 歳)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 4 例、B 型 9 例 (ワクチン接種 1 例) 溶連菌感染症 4 例 水痘 4 例 (ワクチン接種 2 回済み 2 例)
	細木病院小児科	ノロ 2 例 (1 歳男、2 歳女)
中央西	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 1 例 (1 歳男) ヒトメタニューモウイルス 1 例 (4 ヶ月男)
	石黒小児科	顔面単純ヘルペス 1 例 (47 歳女) 水痘 1 例 (6 歳男：ワクチン 2 回済み、県外から帰省中)
	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ B 型 1 例 (4 歳男：高知市) インフルエンザ A 型 19 例 (内 31 歳女：海外より帰省)
須 崎	もりはた小児科	感染性胃腸炎ノロ陽性 2 例 ヘルペス性歯肉口内炎 1 例 (1 歳男) 第 51 週 百日咳 1 例 (12 歳男)
幡 多	幡多けんみん病院小児科	hMPV 陽性 2 例 (1 ヶ月女、2 歳女)
	渭南病院小児科	ヒトメタニューモウイルス気管支炎 1 例 (1 歳男)
	さたけ小児科	ノロウイルス 1 例 (2 歳女) インフルエンザ A 型 9 例、B 型 16 例

第 1 週

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1 例 (1 歳女)
中央東	早明浦病院小児科	インフルエンザ B 型 5 例 (3 歳～14 歳) 溶連菌感染症増多
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 2 例 (1 歳男女) インフルエンザ 1 例 (8 歳男)
	三愛病院小児科	アデノウイルス感染症 1 例 (3 歳男)
	細木病院小児科	ノロ 3 例 (11 ヶ月女、1 歳女、12 歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 8 例、B 型 7 例 (ワクチン接種済み 2 例) 水痘 1 例 (4 歳女：ワクチン未接種)
中央西	くぼたこどもクリニック	インフル B 1 例 (18 歳男：ワクチン済み)
	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 1 例 (1 歳女)
須 崎	もりはた小児科	インフルエンザ 7 例 (A 型 1 例、B 型 6 例)
幡 多	幡多けんみん病院小児科	hMPV 陽性 1 例 (1 歳男)
	さたけ小児科	インフルエンザ 44 例 (A 型 19 例、B 型 25 例)

★全国情報

第50号（12月11日～12月17日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核317例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症22例

4類感染症：E型肝炎4例、A型肝炎3例、オウム病2例、コクシジオイデス症1例、チクングニア熱1例
つつが虫病41例、デング熱2例、日本紅斑熱1例、マラリア1例、レジオネラ症14例

5類感染症：アメーバ赤痢18例、ウイルス性肝炎4例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症19例
急性脳炎9例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症10例
後天性免疫不全症候群12例、ジアルジア症2例、侵襲性インフルエンザ菌感染症7例
侵襲性肺炎球菌感染症48例、水痘（入院例に限る）9例、梅毒81例
播種性クリプトコックス症2例、破傷風2例

報告遅れ：E型肝炎1例、つつが虫病7例、デング熱2例、日本紅斑熱2例、レジオネラ症1例、
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、急性脳炎8例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、水痘（入院例に限る）3例、梅毒44例、
播種性クリプトコックス症3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症4例、風しん1例、
薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

★お知らせ

平成30年1月1日から「百日咳」が五類感染症の「定点把握疾患」から「全数把握疾患」に改正されました。このため、全ての医療機関において、診断されました医師が最寄りの保健所に届出していただきますようお願いいたします。

厚生労働省 「感染症法に基づく医師の届出のお願い」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/kekaku-kansenshou11/01.html

.....

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第52週 平成29年12月25日(月)～平成29年12月31日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第52週							計	前週	全国(51週)	高知県(52週末累計)		全国(51週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H29/1/2～H29/12/31				H29/1/2～H29/12/24		
インフルエンザ	インフルエンザ		12	66	253	65	39	132	567 (11.81)	210 (4.38)	63,774 (12.87)	15,550 (323.96)	1,524,989 (308.45)		
小児科	咽頭結核熱				5	1	1	1	8 (0.27)	11 (0.37)	2,245 (0.71)	409 (13.63)	90,273 (28.59)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7	5	19	1		14	46 (1.53)	56 (1.87)	9,412 (2.97)	2,580 (86.00)	359,557 (113.86)		
	感染性胃腸炎		5	19	27	10	2	16	79 (2.63)	92 (3.07)	26,566 (8.39)	5,746 (191.53)	848,503 (268.68)		
	水痘		1		11	3			15 (0.50)	11 (0.37)	1,650 (0.52)	619 (20.63)	58,567 (18.55)		
	手足口病			1	4	1			6 (0.20)	9 (0.30)	1,941 (0.61)	3,345 (111.50)	357,443 (113.19)		
	伝染性紅斑								(0.00)	(0.00)	251 (0.08)	115 (3.83)	12,215 (3.87)		
	突発性発疹			1	5	2	1	4	13 (0.43)	12 (0.40)	1,143 (0.36)	550 (18.33)	72,250 (22.88)		
	百日咳					1			1 (0.03)	1 (0.03)	30 (0.01)	29 (0.97)	1,629 (0.52)		
	ヘルパンギーナ								(0.00)	1 (0.03)	245 (0.08)	604 (20.13)	85,913 (27.20)		
	流行性耳下腺炎				1				1 (0.03)	4 (0.13)	898 (0.28)	198 (6.60)	77,171 (24.44)		
基幹	RSウイルス感染症			6	8	2	1	6	23 (0.77)	15 (0.50)	2,316 (0.73)	1,814 (60.47)	137,307 (43.48)		
	急性出血性結膜炎								(0.00)	(0.00)	11 (0.02)	(0.00)	432 (0.62)		
	流行性角結膜炎								(0.00)	(0.00)	580 (0.83)	17 (5.67)	26,198 (37.69)		
	細菌性髄膜炎								()	(0.00)	4 (0.01)	6 (0.75)	513 (1.08)		
	無菌性髄膜炎								()	(0.00)	19 (0.04)	7 (0.88)	945 (1.98)		
小児科	マイコプラズマ肺炎				3				3 (0.38)	2 (0.25)	173 (0.36)	92 (11.50)	8,177 (17.14)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				1				1 (0.13)	(0.00)	7 (0.01)	14 (1.75)	260 (0.55)		
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)								()	(0.00)	10 (0.02)	88 (11.00)	4,945 (10.37)		
	計(小児科定点当たり人数)		25 (9.50)	98 (10.56)	337 (23.07)	86 (19.99)	44 (12.25)	173 (24.70)	763 (18.20)		111,275	31,783 (857.58)	3,667,287		
前週(小児科定点当たり人数)		29 (13.75)	57 (6.69)	196 (14.98)	40 (9.59)	25 (7.00)	77 (12.78)		424 (11.45)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第52週							計	前週	全国(51週)	高知県(52週末累計)		全国(51週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H29/1/2～H29/12/31				H29/1/2～H29/12/24		
インフルエンザ	インフルエンザ		3.00	6.00	15.81	13.00	9.75	16.50	11.81	4.38	12.87	323.96	308.45		
小児科	咽頭結核熱				0.45	0.33	0.50	0.20	0.27	0.37	0.71	13.63	28.59		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3.50	0.71	1.73	0.33		2.80	1.53	1.87	2.97	86.00	113.86		
	感染性胃腸炎		2.50	2.71	2.45	3.33	1.00	3.20	2.63	3.07	8.39	191.53	268.68		
	水痘		0.50		1.00	1.00			0.50	0.37	0.52	20.63	18.55		
	手足口病			0.14	0.36	0.33			0.20	0.30	0.61	111.50	113.19		
	伝染性紅斑								0.00	0.00	0.08	3.83	3.87		
	突発性発疹			0.14	0.45	0.67	0.50	0.80	0.43	0.40	0.36	18.33	22.88		
	百日咳					0.33			0.03	0.03	0.01	0.97	0.52		
	ヘルパンギーナ								0.00	0.03	0.08	20.13	27.20		
	流行性耳下腺炎				0.09				0.03	0.13	0.28	6.60	24.44		
基幹	RSウイルス感染症			0.86	0.73	0.67	0.50	1.20	0.77	0.50	0.73	60.47	43.48		
	急性出血性結膜炎								0.00	0.00	0.02	0.00	0.62		
	流行性角結膜炎								0.00	0.00	0.83	5.67	37.69		
	細菌性髄膜炎								0.00	0.00	0.01	0.75	1.08		
	無菌性髄膜炎								0.00	0.00	0.04	0.88	1.98		
小児科	マイコプラズマ肺炎				0.60				0.38	0.25	0.36	11.50	17.14		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				0.20				0.13	0.00	0.01	1.75	0.55		
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)								0.00	0.00	0.02	11.00	10.37		
	計(小児科定点当たり人数)		9.50	10.56	23.07	19.99	12.25	24.70	18.20			857.58			
前週(小児科定点当たり人数)		13.75	6.69	14.98	9.59	7.00	12.78		11.45						

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第1週 平成30年1月1日(月)～平成30年1月7日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第1週							計	前週	全国(52週)	高知県(1週末累計)		全国(52週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/1/1～H30/1/7				H29/1/2～H29/12/31			
インフルエンザ	インフルエンザ		24	98	347	87	62	284	902 (18.79)	567 (11.81)	85,976 (17.88)	902 (18.79)	1,611,207 (326.02)			
小児科	咽頭結核熱				3		1		4 (0.13)	8 (0.27)	1,919 (0.63)	4 (0.13)	92,195 (29.21)			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7	2	8	1		11	29 (0.97)	46 (1.53)	7,460 (2.44)	29 (0.97)	367,059 (116.31)			
	感染性胃腸炎		3	12	15	7	4	8	49 (1.63)	79 (2.63)	22,316 (7.29)	49 (1.63)	870,879 (275.94)			
	水痘			1	7			1	9 (0.30)	15 (0.50)	1,510 (0.49)	9 (0.30)	60,084 (19.04)			
	手足口病			2	5				7 (0.23)	6 (0.20)	1,312 (0.43)	7 (0.23)	358,764 (113.68)			
	伝染性紅斑								(0.00)	(0.00)	204 (0.07)	(0.00)	12,419 (3.94)			
	突発性発疹			2	3	2	1		8 (0.27)	13 (0.43)	996 (0.33)	8 (0.27)	73,256 (23.21)			
	ヘルパンギーナ								(0.00)	(0.00)	135 (0.04)	(0.00)	86,048 (27.26)			
	流行性耳下腺炎								(0.00)	1 (0.03)	696 (0.23)	(0.00)	77,868 (24.67)			
RSウイルス感染症				11			5	16 (0.53)	23 (0.77)	2,132 (0.70)	16 (0.53)	139,446 (44.18)				
眼科	急性出血性結膜炎								(0.00)	(0.00)	9 (0.01)	(0.00)	441 (0.64)			
	流行性角結膜炎			1					1 (0.33)	(0.00)	505 (0.75)	1 (0.33)	26,705 (38.48)			
基幹	細菌性髄膜炎								()	(0.00)	9 (0.02)	(0.00)	522 (1.09)			
	無菌性髄膜炎								()	(0.00)	11 (0.02)	(0.00)	956 (2.00)			
	マイコプラズマ肺炎			1					1 (0.13)	3 (0.38)	165 (0.35)	1 (0.13)	8,349 (17.50)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	1 (0.13)	5 (0.01)	(0.00)	265 (0.56)			
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)								()	(0.00)	25 (0.05)	(0.00)	4,970 (10.42)			
計(小児科定点当たり人数)		34 (11.00)	117 (11.63)	401 (26.41)	97 (20.73)	68 (18.50)	309 (40.50)	1,026 (22.85)			125,385	1,026 (22.85)	3,791,433			
前週(小児科定点当たり人数)		25 (9.50)	98 (10.56)	337 (23.07)	85 (19.66)	44 (12.25)	173 (24.70)		762 (18.17)							

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第1週							計	前週	全国(52週)	高知県(1週末累計)		全国(52週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/1/1～H30/1/7				H29/1/2～H29/12/31			
インフルエンザ	インフルエンザ		6.00	8.91	21.69	17.40	15.50	35.50	18.79	11.81	17.88	18.79	326.02			
小児科	咽頭結核熱				0.27		0.50		0.13	0.27	0.63	0.13	29.21			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3.50	0.29	0.73	0.33		2.20	0.97	1.53	2.44	0.97	116.31			
	感染性胃腸炎		1.50	1.71	1.36	2.33	2.00	1.60	1.63	2.63	7.29	1.63	275.94			
	水痘			0.14	0.64			0.20	0.30	0.50	0.49	0.30	19.04			
	手足口病			0.29	0.45				0.23	0.20	0.43	0.23	113.68			
	伝染性紅斑								0.00	0.00	0.07	0.00	3.94			
	突発性発疹			0.29	0.27	0.67	0.50		0.27	0.43	0.33	0.27	23.21			
	ヘルパンギーナ								0.00	0.00	0.04	0.00	27.26			
	流行性耳下腺炎								0.00	0.03	0.23	0.00	24.67			
RSウイルス感染症				1.00			1.00	0.53	0.77	0.70	0.53	44.18				
眼科	急性出血性結膜炎								0.00	0.00	0.01	0.00	0.64			
	流行性角結膜炎			1.00					0.33	0.00	0.75	0.33	38.48			
基幹	細菌性髄膜炎								0.00	0.00	0.02	0.00	1.09			
	無菌性髄膜炎								0.00	0.00	0.02	0.00	2.00			
	マイコプラズマ肺炎			0.20					0.13	0.38	0.35	0.13	17.50			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.00	0.13	0.01	0.00	0.56			
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)								0.00	0.00	0.05	0.00	10.42			
計(小児科定点当たり人数)		11.00	11.63	26.41	20.73	18.50	40.50	22.85				22.85				
前週(小児科定点当たり人数)		9.50	10.56	23.07	19.66	12.25	24.70		18.17							

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
 〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）
 TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869
 この情報に記載のデータは2018年1月9日現在の情報により作成
 しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあ
 りますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。